

歩掛参考見積募集要領
(見積名称：荒川上流域氾濫解析検討業務（仮称）)

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年1月21日

独立行政法人水資源機構
荒川ダム総合管理所
所長 山中 充治
(公印省略)

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、荒川ダム総合管理業務で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は添付のEXCEL様式（荒川ダム総合管理所ホームページよりダウンロードできます）を使用して下さい。
- (2) 提出期間：令和8年1月21日（水）から令和8年2月3日（火）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
9時から16時まで

(3) 提出先

独立行政法人水資源機構荒川ダム総合管理所 所長 山中 充治 宛

【担当】総務課 佐古田

〒369-1801 埼玉県秩父市荒川久那4041

TEL 0494-23-1431 FAX 0494-23-7912

電子メールアドレス：nyukei_arakawa@water.go.jp

(4) 提出方法

書面は持参、電子メール、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

※押印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先を明記することで省略することができます。

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件

埼玉県が実施した多段階の浸水想定図をベースとした流出解析及び氾濫解析の実施並びに浸水想定図の作成。

(2) 業務作業項目、作業内容

別紙の「参考見積仕様書」のとおりとします。

(3) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（2）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和8年1月21日（水）から令和8年1月26日（月）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時から16時まで
- (2) 提出場所：3. (3) と同じ。
- (3) 提出方法：3. (4) と同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和8年1月29日（木）から令和8年2月3日（火）まで
- (2) 閲覧方法：荒川ダム総合管理所ホームページに掲載します。

7. 参考見積条件

有効期限：令和9年3月31日

8. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

9. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

10. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

参考見積仕様書

件名：荒川上流域氾濫解析検討業務（仮称）

第 1 節 業務目的

本業務は、ダム下流の確率規模別の降雨時に想定される浸水被害等を把握することを目的とし、埼玉県が実施した多段階の浸水想定図をベースに流出解析及び浸水解析を行い、ダム管理の操作判断および下流自治体等への情報提供に資する事を目的として実施するものである。

第 2 節 業務内容

2-1 計画準備

業務の実施に先立ち、業務内容を十分理解し、円滑な業務遂行ができるよう業務計画の立案を行う。

2-2 資料収集整理

- 受注者は、業務を実施するにあたり以下に示す発注者が貸与する既往検討資料やその他必要と判断する資料等を収集し、本業務の実施にあたり必要な基本情報及び条件等を整理するものとする。

貸与資料：「荒川水系水害リスク情報図作成業務報告書(令和5年3月)(埼玉県総合治水事務所)」

2-3 流出解析

- 受注者は、確率規模別雨量による浸水解析を行うにあたり、必要な流出解析モデルを構築する。
- 流出解析モデルの構築にあたっては、2-2 で収集した資料に基づきモデルを構築するものとする。なお、流出解析の範囲は寄居地点上流域とし、確率規模別雨量は以下の条件とする。

計算条件

確率規模別雨量	1/10, 1/30, 1/50, 1/100, 1/150, 1/200 の 6 ケース
---------	---

- 流出解析の実施にあたり、不明な点がある場合は、調査職員と協議を行い、その指示に従うものとする。

2-4 泛濫解析

- 受注者は、2-3 において実施した流出解析結果に基づく浸水想定図を作成するにあたり、必要な氾濫モデルを構築する。
- 氾濫モデルの構築にあたっては、2-2 で収集した資料に基づきモデルを構築するものとする。なお、浸水解析の範囲は寄居地点上流域とし、浸水解析の氾濫条件は以下のとおりとする。

計算条件

氾濫条件	溢水氾濫又は越水氾濫のみとする（破堤氾濫はなしとする）
------	-----------------------------

2-5 浸水想定図作成

1. 受注者は、前項までに得た解析結果等を基に確率規模別の浸水想定図を作成する。
2. 浸水想定図は、寄居地点上流域を10ブロック程度に分割して、各ブロック毎及び全ブロックの「浸水面積」「浸水田畠面積」「浸水戸数（床上、床下）」「荒川上流3ダム（浦山ダム、滝沢ダム、二瀬ダム）の最大流入量、最大放流量、最高貯水位」について整理を行うものとする。なお、各ブロックの整理に当たっては、「親鼻水位観測所」又は「寄居水位観測所」の各水位観測所より上流域の浸水被害が把握できるようブロック分割を行うものとする。
3. 浸水想定図の作成に当たっては、確率規模別に浸水が開始する地点及び当該地点の流量について整理するとともに、この時の「親鼻水位観測所」及び「寄居水位観測所」の水位及び流量についても整理を行うものとする。
4. 浸水想定図の作成にあたり、不明な点がある場合は、調査職員と協議を行い、その指示に従うものとする。

2-6 照査

受注者は、正確性、整合性等の照査を行うものとする。

第3節 報告書作成

受注者は、本業務で実施した内容に関して、検討手法、課程等を含めた報告書を作成するものとする。また、報告書の概要版を作成するものとする。

－以 上－

歩掛参考見積書

件名 荒川上流域氾濫解析検討業務(仮称)

名 称	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
計画準備								
資料収集整理								
流出解析								
氾濫解析								
浸水想定図作成								
照査								
報告書作成								

※ 各項目において、直接人件費の人数を記入して下さい。

なお、上表は記入例であり、この他に必要な項目等がある場合は、適宜変更または追加してください。